

▼イダロン錠 [内] (製造中止)

【重要度】【製造中止】 【一般製剤名】フロクタフェニン floctafenine 【分類】非ステロイド抗炎症薬

【単位】200mg/錠

【常用量】600mg

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】透析患者の投与方法に言及した文献はないが、おそらく減量の必要はないと思われる (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】腎障害悪化の恐れがあるため、できるだけ投与しない。CLCr>50mL/min :減量の必要なし, CLCr10~50mL/min :減量の必要なし, CLCr<10mL/min :腎障害悪化の恐れがあるため禁忌となっているが減量の必要はない (5)

【特徴】血中濃度が速やかに上昇するため、特に急性疼痛疾患に対して、速効性が期待できる。強い鎮痛効果を有する一方、胃粘膜刺激作用は比較的弱く、消化管への刺激が少ない。

【主な副作用・毒性】ショック、失神発作、胃部不快感、嘔吐、下痢、胃腸障害、発疹、搔痒、眠気、めまい、排尿時痛、AST・ALT・ALPの上昇、耳鳴、倦怠感

【tmax】200mgで、1h (1)

【代謝】吸収後速やかに代謝されフロクタフェニン酸となり、主として胆汁中に排泄される (1)

【排泄】投与後24時間までに投与量の約25%が尿中に排泄 (1)

【t1/2】200mgで、約2h (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない

【更新日】20080703

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。